

平成 20 年度 第 2 回 府立堺西高等学校学校協議会

2009,2,16(月)

< 議題 >

平成 20 年度学校教育自己診断の**生徒調査結果**から見える本校の課題等

1.本校生徒の抱える教育課題について

- ・ 学校生活や部活動、生徒会活動に対して肯定的回答が多い反面、学習面に対しては否定的回答が多数であることが残念。
- ・ 問 5 の自宅学習時間について、全体の 7 割が 30 分以内、その内 4 割は勉強時間無しとの大きな課題の残る結果が出ている。
- ・ 問 2 「わかりやすい授業が多い」と感じている生徒は少ないが、多くの教員は問 5 「授業方法を工夫している」との回答。実情が噛み合っていない。
- ・ 問 16 より図書室の利用が少ない現状であることが危惧される。

2.学校教育力向上に向けた助言・アドバイス

- ・ 学校の特色づくりを進める。学校経営は"ビジョン"が大切である。
- ・ N P O の設立を期に、学校の理念に即するようボランティア（地域）への活動を促していく。
- ・ 学習習慣の少なさは小・中から継続しての悩み。その背後には生活習慣や家庭環境からの要因があり高校から手を打つのは難しい面もある。
- ・ 自宅学習をする為の動機付けが大切。宿題やその点検の工夫など。
- ・ 教員の授業スタイルそのものを変えないと、生徒の受け止め方も変わらない。

平成 20 年度学校教育自己診断の**保護者・教員調査結果**から見える本校の課題等

1.本校教職員の抱える教育課題について

- ・ 各項目に対しての肯定的回答が前回（H13 年度）に比べ大幅に減少。教職員のモチベーションの低下が懸念される。
- ・ 授業改善に、全教員が対応できていない。
- ・ 問 1、25、26 より教職員間でのコミュニケーションが不足。情報を共有して意見交換する意気込みに欠けている。

2.上記についてこれから必要な取り組み、改善点

- ・ 中堅高校として生徒にどのような力をつけさすか、職員間でよく話し合うべき。
- ・ ”生徒たちへの期待”は大切。生徒への先入観があるがゆえに、力を伸ばしきれていないのでは。教員の期待度に応じて生徒は育つ。
- ・ 教員の結束が大切であり、それが学校の教育力向上に繋がる。
- ・ H13 年度から H20 年度への数値の悪化は結果に基づくフィードバックができていないからでは。

3.保護者の調査結果より

- ・ 全体を通して肯定的な意見が増加。全体的に保護者の評価は向上している。特に、問 14 の生徒の部活動や生徒会活動における積極性への認識が高い。
- ・ 問 16 「中学校の後輩、保護者に堺西高を薦めたい」に多数の肯定的回答を頂いた。
- ・ 生徒編と同じく問 12 「わかりやすい授業が多い」での回答は否定的意見が多数。

【 報告事項 】

1.N P O 「堺西青少年地域育成会」の設立報告

- ・ 平成 21 年 2 月 4 日付、大阪府より認可される。

2.創立 30 周年記念事業終了と堺西高カップ大会の開催報告

- ・ 30 周年記念事業...記念式典・クラブハウス全面改修・記念図書
- ・ 堺西高カップ開催（ソフトテニス・サッカー）